



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）数原 滋彦
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）比留間 正美 TEL 03-3458-6215
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	64,081	1.9	6,547	△15.1	6,740	△17.1	3,992	△47.6
2024年12月期第3四半期	62,912	18.4	7,711	△4.7	8,129	△10.8	7,625	22.6

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 7,969百万円（△20.3％） 2024年12月期第3四半期 10,004百万円（△15.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	72.97	—
2024年12月期第3四半期	138.79	—

（注）2024年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第3四半期	172,528	133,641	76.4	2,438.26
2024年12月期	176,881	130,708	72.6	2,320.42

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 131,887百万円 2024年12月期 128,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	21.00	—	25.00	46.00
2025年12月期	—	26.00	—		
2025年12月期（予想）				26.00	52.00

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
2. 2024年12月期の第2四半期末配当金21円には、特別配当金1円を含んでおります。
3. 2024年12月期の期末配当金25円には、特別配当金1円を含んでおります。
4. 2025年12月期の第2四半期末配当金26円には、特別配当金1円を含んでおります。
5. 2025年12月期の期末配当金26円には、特別配当金1円を含んでおります。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	91,000	2.5	10,500	△13.9	10,800	△16.6	7,000	△37.9	128.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規1社（社名）UNI LINC INDIA PRIVATE LIMITED

除外1社（社名）上海申楷菱文具有限公司

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（その他の事項）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	60,042,592株	2024年12月期	61,042,592株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	5,951,757株	2024年12月期	5,726,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	54,716,163株	2024年12月期3Q	54,944,430株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（注）予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係に関する注記)	9
(その他の事項)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日から2025年9月30日まで）におけるわが国経済は、個人消費は物価の高止まりの影響を受けながらも持ち直しの動きがみられ、企業収益の改善や所得環境の改善、インバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外に目を向けると、地政学的リスクや資源・エネルギー価格の変動への懸念に加え、関税をはじめとする米国政権の政策動向の不確実性など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く外部環境といたしましては、国内市場に限定されず、多くの先進諸国で少子高齢化や人口減少といった構造的な問題を抱えていることに加え、デジタル化の進展によって事務用品としての筆記具の需要は縮小傾向にあります。他方、ライフスタイルや価値観の多様化により、お客様が商品に求める役割や体験価値は変化しております。また、インターネットを介した流通の普及は一層進みボーダーレス化が加速したことや新興企業の参入といった背景から、品質・コスト面を中心として業界全体の競争環境は激化しつつあります。さらに、環境問題をはじめとするサステナビリティという共通課題は、今や企業活動の中心的な価値観となり、商品やサービスの提供において不可欠なものとなりました。こうした市場環境の変化に迅速に対応し、お客様の求める価値を具現化し続けていくことがより重要となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「書く（かく）、描く（えがく）」を通じた“表現体験そのもの”を創造することで、すべての人が生まれながらにして持つ個性や才能といった「ユニーク」を表現する機会を創り出すことが、お客様への提供価値と捉え、「違いが、美しい。」というコーポレートブランドコンセプト（企業理念）に基づき、活動してまいりました。

具体的な活動として、表現の場を提供する活動のひとつとして、「自分らしさを描く」をテーマに、オフィシャルパートナー契約を締結している一般社団法人障がい者自立推進機構と第4回アートコンテストを開催いたしました。また、新開発の水性インクで「すいすい書ける水性ボールペン」の『uniball ZENTO（ユニボール ゼント）』シリーズより、日常を離れた癒やしの時間に寄り添うことをテーマにした「uniball ZENTO スタンダードモデル」、「uniball ZENTO フローモデル」の新色を発売いたしました。さらに、今後のグローバル戦略における新たな拠点として当年1月にインドに設立した連結子会社 UNI LINC INDIA PRIVATE LIMITEDが、9月より生産を開始いたしました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は64,081百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は6,547百万円（前年同期比15.1%減）、経常利益は6,740百万円（前年同期比17.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,992百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメント別の業績の概観は次のとおりです。

（筆記具及び筆記具周辺商品事業）

国内市場においては、新感覚のすいすいとした書き心地を特長とする水性ボールペン「uniball ZENTO（ユニボール ゼント）」が、非常に高い評価を得てヒット商品となっております。また、『クルトガ』シリーズ初の本製グリップ軸である「KURUTOGA Wood（クルトガ ウッド）」や、『LAMY safari（ラミー サファリ）』シリーズに、「JETSTREAM（ジェットストリーム）」のインクを搭載した「LAMY safari JETSTREAM INSIDE（ラミー サファリ ジェットストリーム インサイド）」などの新製品も好調に推移し、国内売上は増収となりました。

海外市場においては、米国地域は「uniball ZENTO（ユニボール ゼント）」や『POSCA（ポスカ）』が好調に推移し、増収となりました。欧州地域は『POSCA（ポスカ）』を中心とした流通在庫の調整が長引いており、減収となりました。アジア地域では、経済成長減速の影響が出ているものの、『POSCA（ポスカ）』のプロモーション強化や、『LAMY』ブランドの売上伸長などにより、増収となりました。

化粧品事業および産業資材事業においては、化粧品事業の主力であるアイメイク製品の受注増加など好調に推移し、増収となりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は62,235百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

（その他の事業）

粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましては、主に粘着テープの食品向けや衛生用品向けの売上が好調に推移いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は1,845百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、主に投資有価証券が増加したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて4,352百万円減少し172,528百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて7,285百万円減少し38,887百万円となりました。

純資産は、主に自己株式の取得により自己株式が増加したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2,932百万円増加し133,641百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,349	32,382
受取手形及び売掛金	19,586	16,906
棚卸資産	30,430	32,075
その他	4,072	3,922
貸倒引当金	△234	△373
流動資産合計	95,205	84,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,117	15,694
その他（純額）	16,699	16,822
有形固定資産合計	31,817	32,517
無形固定資産		
のれん	5,739	5,666
商標権	5,267	5,354
その他	1,184	1,259
無形固定資産合計	12,190	12,280
投資その他の資産		
投資有価証券	26,130	31,171
投資不動産（純額）	5,917	5,846
その他	5,703	5,884
貸倒引当金	△83	△83
投資その他の資産合計	37,668	42,818
固定資産合計	81,676	87,615
資産合計	176,881	172,528

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,014	5,968
短期借入金	1,736	1,731
未払法人税等	2,849	673
賞与引当金	723	1,332
その他	9,071	7,316
流動負債合計	24,396	17,023
固定負債		
長期借入金	9,887	8,596
退職給付に係る負債	2,951	3,079
役員退職慰労引当金	59	67
その他	8,878	10,120
固定負債合計	21,776	21,864
負債合計	46,173	38,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,964	4,809
利益剰余金	104,604	104,278
自己株式	△5,156	△6,002
株主資本合計	107,909	107,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,522	15,580
為替換算調整勘定	6,689	7,588
退職給付に係る調整累計額	1,236	1,135
その他の包括利益累計額合計	20,448	24,304
非支配株主持分	2,351	1,754
純資産合計	130,708	133,641
負債純資産合計	176,881	172,528

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上高	62,912	64,081
売上原価	30,160	31,653
売上総利益	32,752	32,427
販売費及び一般管理費	25,040	25,880
営業利益	7,711	6,547
営業外収益		
受取利息	142	73
受取配当金	281	363
受取地代家賃	196	294
受取保険金	28	26
為替差益	110	—
その他	71	64
営業外収益合計	831	822
営業外費用		
支払利息	57	144
為替差損	—	171
賃貸費用	155	160
シンジケートローン手数料	115	25
投資事業組合管理費	39	57
その他	47	69
営業外費用合計	414	629
経常利益	8,129	6,740
特別利益		
固定資産売却益	3,624	1
投資有価証券売却益	110	—
受取補償金	173	—
関係会社清算益	—	82
特別利益合計	3,908	84
特別損失		
固定資産除売却損	37	22
工場再編損失	—	5
店舗閉鎖損失	—	411
特別損失合計	37	438
税金等調整前四半期純利益	12,000	6,385
法人税等	4,185	2,235
四半期純利益	7,814	4,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	157
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,625	3,992

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	7,814	4,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,129	3,057
為替換算調整勘定	97	859
退職給付に係る調整額	△37	△97
その他の包括利益合計	2,189	3,819
四半期包括利益	10,004	7,969
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,819	7,852
非支配株主に係る四半期包括利益	184	117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	61,182	1,730	62,912	—	62,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	22	22	△22	—
計	61,183	1,752	62,935	△22	62,912
セグメント利益	7,550	141	7,691	20	7,711

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

筆記具及び筆記具周辺商品事業において、前第1四半期連結会計期間に行われたC. Josef Lamy GmbH、Lamy Vermietungs GmbH 及び、C. Josef Lamy GmbH の子会社3社との企業結合について、暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、暫定的に算定されたのれんの金額が11,140百万円から6,011百万円となっております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	62,235	1,845	64,081	—	64,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	15	15	△15	—
計	62,235	1,861	64,097	△15	64,081
セグメント利益	6,399	120	6,520	26	6,547

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

また、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,892百万円	3,606百万円
のれんの償却額	253	384

(企業結合等関係に関する注記)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年3月15日(みなし取得日 2024年3月31日)に行われたC. Josef Lamy GmbH、Lamy Vermietungs GmbH 及び、C. Josef Lamy GmbH の子会社3社との企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価が251百万円増加、販売費及び一般管理費が80百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ171百万円減少しております。

(その他の事項)

(連結の範囲の重要な変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間において、UNI LINC INDIA PRIVATE LIMITEDを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当中間連結会計期間において、上海申楷菱文具有限公司は清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。